

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長 通信
大潟村立大潟中学校
令和8年8月26日(水)発行
NO.4 文責:半田 昌幸



令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

中学校3年生を対象として行われた全国学力・学習状況調査の結果が7月下旬に公表されました。今年度は国語・数学・英語の3教科が実施され、英語はC B T（コンピュータを使った試験）で行われました。本校の結果をお伝えいたします。

教科平均正答率(%)

I R Tスコア

この資料はH P上には掲載いたしません。

授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりする



分からないことや詳しく知りたいことがあったとき自分で学び方を考え、工夫する



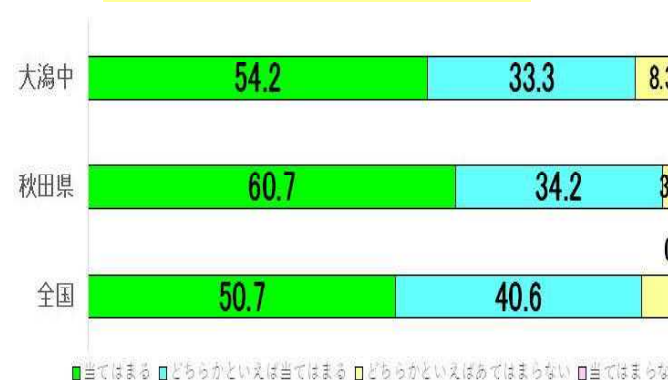
「毎日の朝食」「定時に起きる」「定時に寝る」などの基本的生活習慣が全国平均を上回っています。特に「毎日の朝食」は100%と、生徒の家庭での生活習慣が安定しています。新聞を読む生徒も多く「世の中の動きに触れる」「活字に触れる」などの機会が確保されています。平日の学習時間はほとんどの生徒が1時間以上の学習時間を確保しています。また、休日の学習時間が3時間以上の生徒は全国平均の3倍程度おり、前向きに学習に向かう生徒が多いことがうかがえます。さらに、授業で学んだことを次の学習や実生活に生かそうとしたり、分からないことや詳しく知りたいことを追究したりする意欲の高さがうかがえる結果となっています。



道徳の授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする



総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する



日常的に英語を使う機会が十分にありましたか



道徳の授業に関しては、全国平均並みの結果でした。アサーティブな関係づくりを進め、授業を通して自分の考えを深めていくことができる学習を展開していきます。総合的な学習の時間では、今後も「発信」の学習場面を重視し、表現力の育成に努めて参ります。英語を使う機会が全国平均より高いのは、本地域のよさと捉えています。



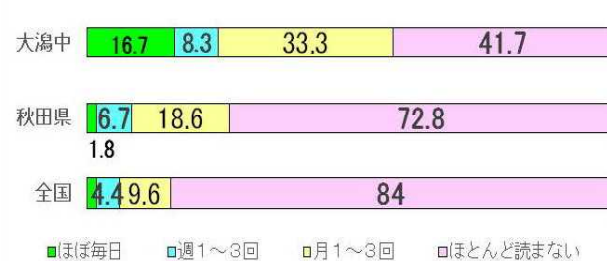
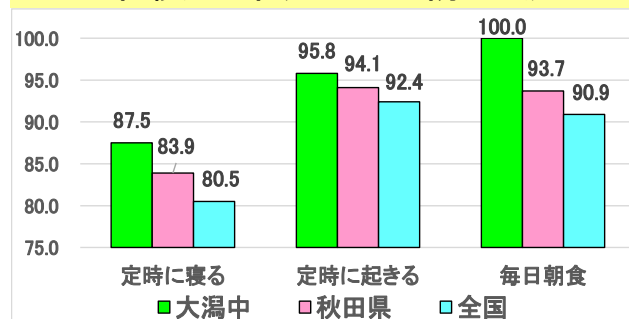
国語「言語事項・情報の扱いの事項・話すこと聞くこと・書くこと・読むこと」数学「数と式・図形・関数・データの活用」英語「聞くこと・読むこと・書くこと」全ての領域で、全国平均を上回っています。バランスのよい定着状況であるといえます。



早寝・早起き・朝ご飯



新聞を読んでいる



平日の学習時間



土日、休日の学習時間



■自分にはよいところがある■



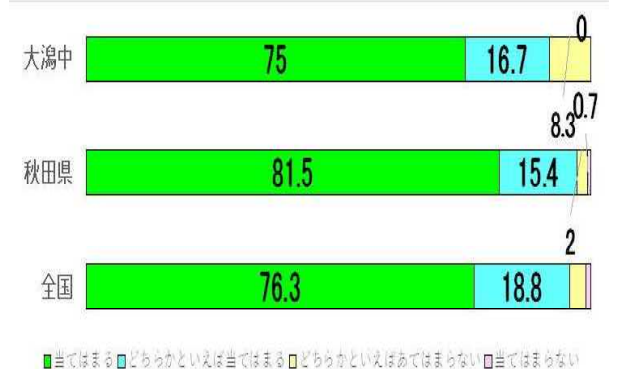
■将来の夢や目標をもっている■



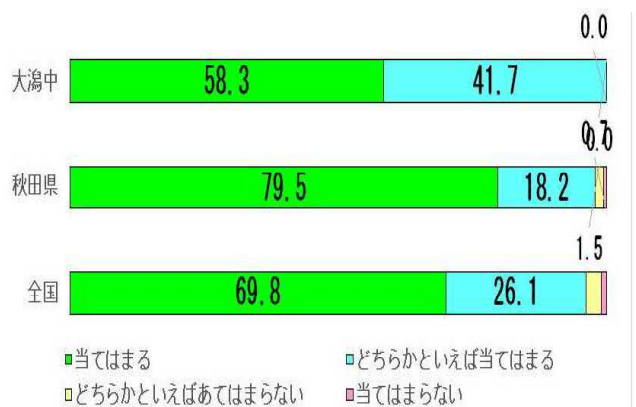
■人が困っているときは進んで助ける■



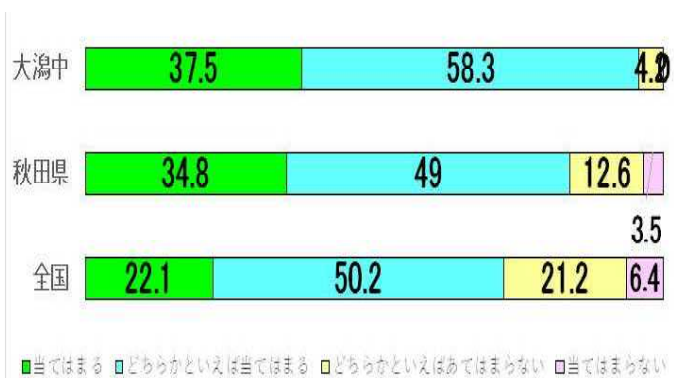
■いじめはどんな理由があってもいけないことだ■



■社会の役に立つ人間になりたい■



■地域や社会をよくするために何かしてみたい■



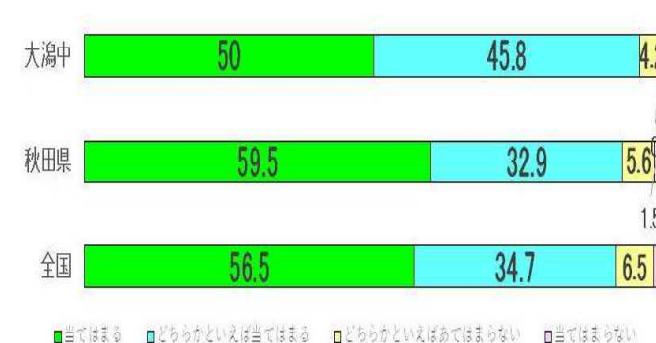
「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは進んで助ける」という、自己有用感に関する設問では、肯定的な回答は全国平均並みでしたが、強い肯定の回答は低い結果となりました。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」については全国平均よりやや低い結果となりました。いじめは許されない行為であるということ今后も伝え続けていきます。「社会の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という設問では、ほとんどの生徒が肯定的な回答でした。他者への貢献意識が高いことがうかがえる結果となりました。



■学校に行くのは楽しい■



■友達関係に満足している■



「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」の設問では、肯定的な回答が全国平均を上回りました。学校では今後も「絆づくり」「居場所づくり」を意識し、学校が生徒にとって安心できる大切な場所となるよう、今後取り組んで参ります。



■自分と違う意見について考えるのは楽しい■



■学級では、人と違う意見を言っても否定されない■



「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「学級では、人と違う意見を言っても否定されない」の設問では、全国平均を大きく上回る回答でした。特に「学級では、人と違う意見を言っても否定されない」の強い肯定部分が6割を超える回答でした。一人一人が互いの考えを認め合う関係であることがうかがえる結果となりました。



★今後の取組★

教科の調査及び質問紙調査において、本校の生徒は学習面、心理面において比較的良好な状態であると考えられます。基本的な生活習慣が身に付いており、各ご家庭や地域の教育力が生徒を支えていることがこのような結果になった大きな要因であると思われます。学校においても、生徒が健やかに成長できるよう今後も支援を続けていきます。本校の生徒は、他者を認め、他者のために力を注ぐことができる一方で、自分のよさを認めることにやや遠慮がちである傾向が見られます。自信をもって自分を伸ばすことができるよう、学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていくことができれば幸いです。今後とも、本校教育活動へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。